

2022年3月期 第1四半期 決算説明資料

AIDA



連結業績ハイライト 《損益概要》



【単位：百万円】	
売上高	
売上原価	
売上総利益（粗利）	
<売上総利益率（粗利率）>	
販売費及び一般管理費	
営業利益	
<営業利益率>	
経常利益	
税引前利益	
親会社株主に帰属する当期純利益	
【換算レート】	1USD 1EUR

2021年3月期	2022年3月期
1Q累計実績	1Q累計実績
10,559	13,079
8,490	10,704
2,068	2,375
19.6%	18.2%
1,889	2,104
179	270
1.7%	2.1%
231	380
16	367
△ 140	226
¥107.61	¥109.51
¥118.46	¥131.91

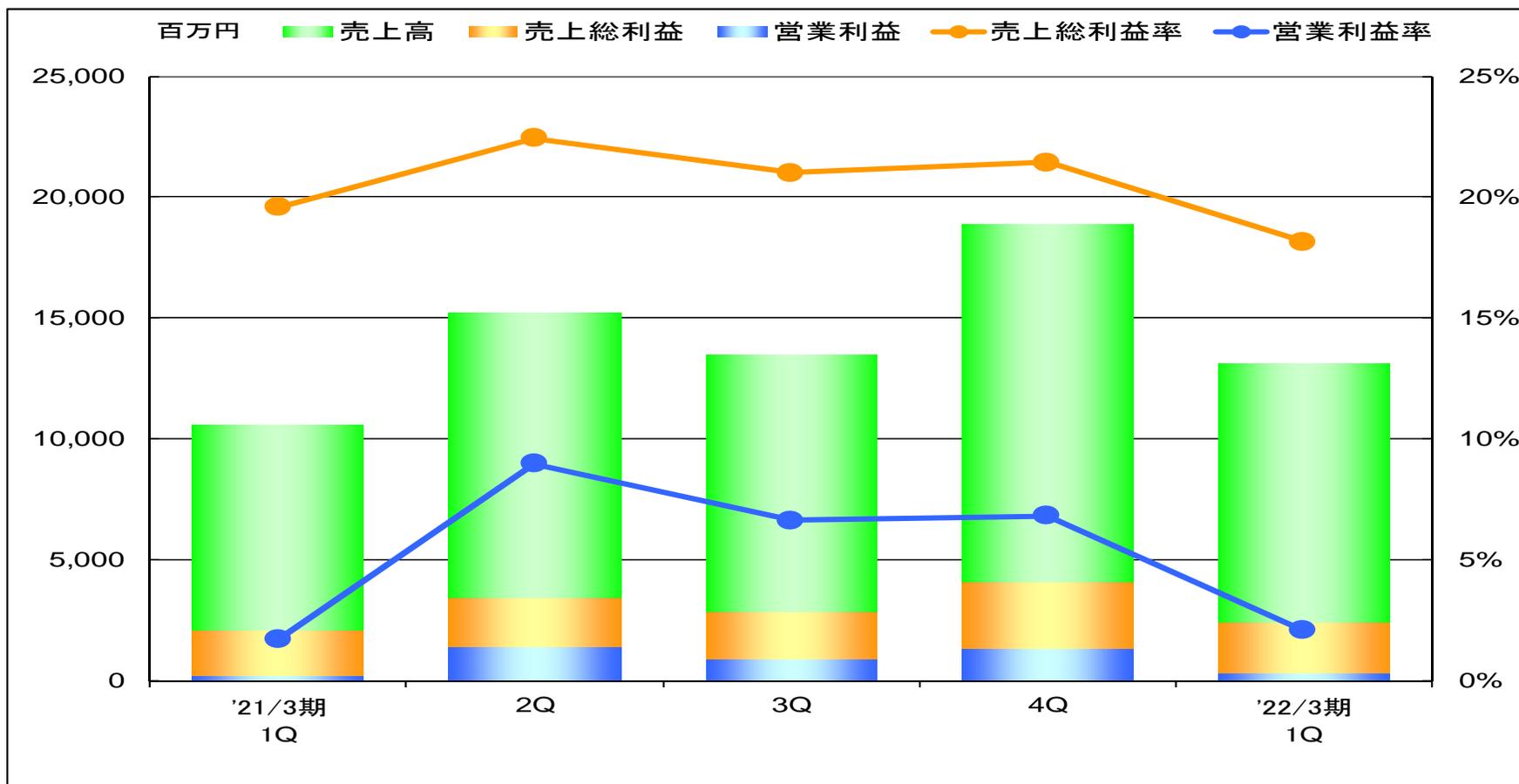
対前年同期増減	
金額	率
2,520	23.9%
2,214	26.1%
306	14.8%
	(△1.4P)
215	11.4%
90	50.7%
	(+0.4P)
148	64.0%
350	2140.3%
366	-
1.90	1.8%
13.45	11.4%

【概況】

昨年度のコロナ感染拡大に伴う落込みから回復し、増収・増益

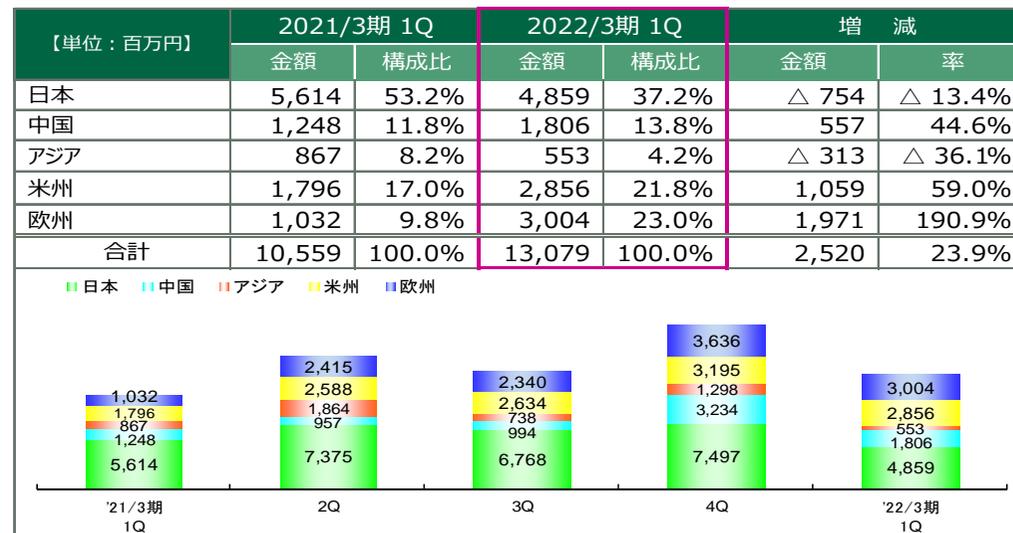
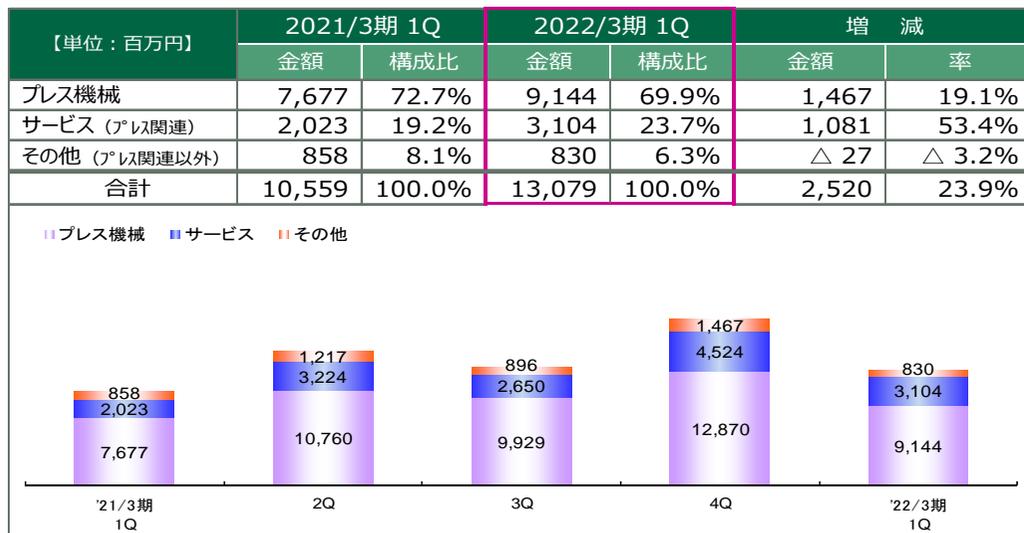
売上高	昨年度の1Qは新型コロナ感染拡大に伴う操業停止・縮小により売上は大きく落ち込んだが、今年度はアジア地域を除いてコロナ影響は改善し、全体で増収
売上総利益（粗利）	増収に伴い売上総利益も増加するも、粗利率の低い工事進行基準案件の進捗により粗利率は低下
営業利益	事業活動の正常化に伴い旅費等の販管費増加したものの、粗利増加により吸収し前年同期比50.7%増。営業利益率も0.4P上昇
経常利益	上記要因により、前年同期比64%増加
親会社株主に帰属する当期純利益	上記要因のほか、昨年度の特種要因(コロナ影響による工場の操業停止・縮小に関する特別損失)の剥落により前年同期比大幅増

四半期別 売上高・売上総利益・営業利益推移

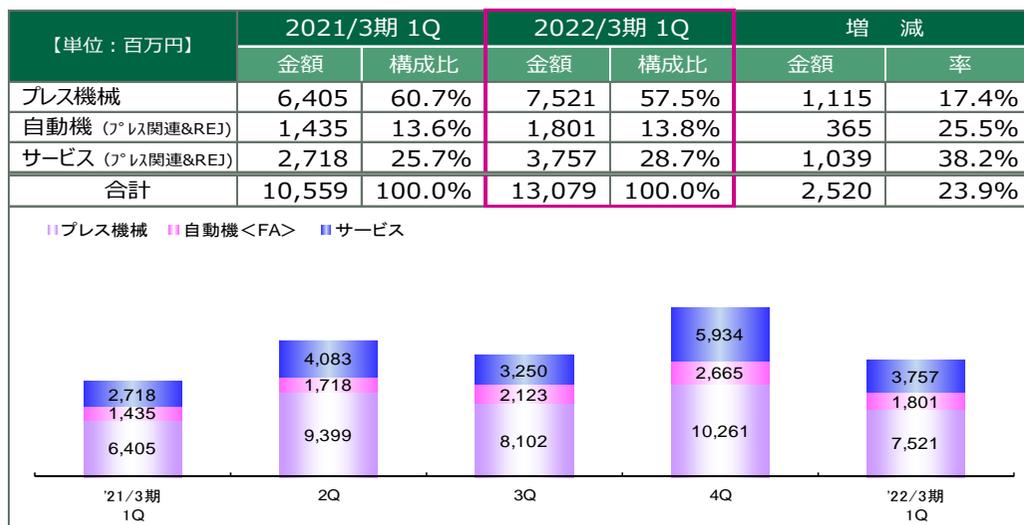


【単位：百万円】	2021/3期				2022/3期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	10,559	15,202	13,476	18,862	13,079
売上総利益	2,068	3,408	2,830	4,045	2,375
営業利益	179	1,364	892	1,287	270
売上総利益率	19.6%	22.4%	21.0%	21.4%	18.2%
営業利益率	1.7%	9.0%	6.6%	6.8%	2.1%

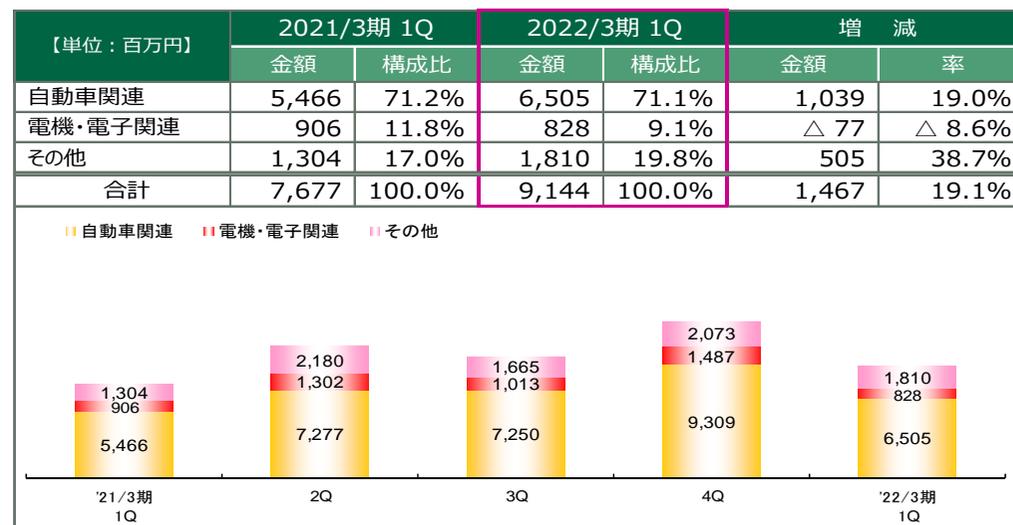
売上高(事業区分別・外部顧客(地域)別・顧客業種別)



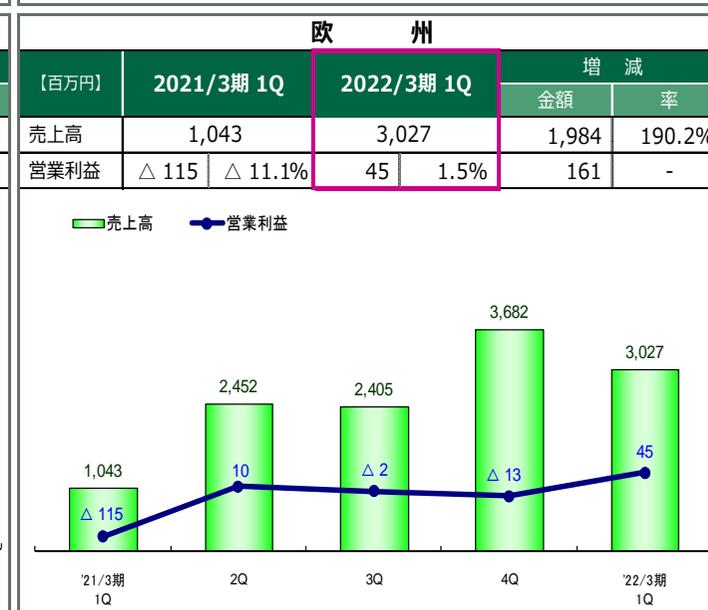
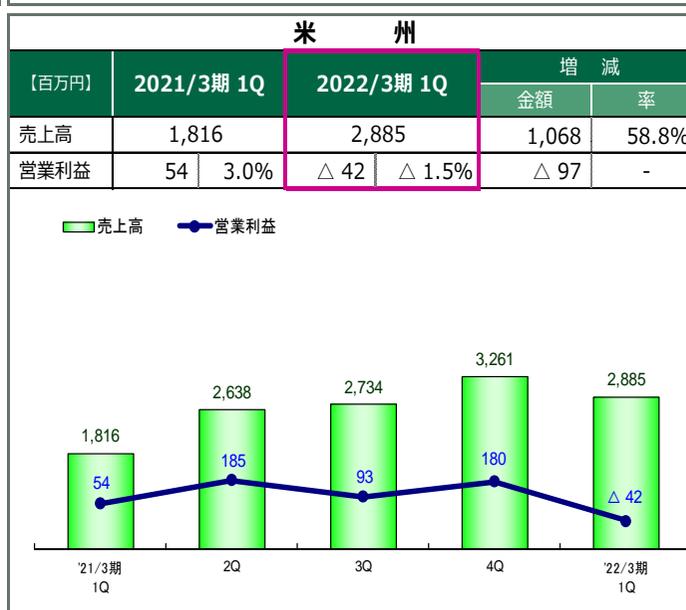
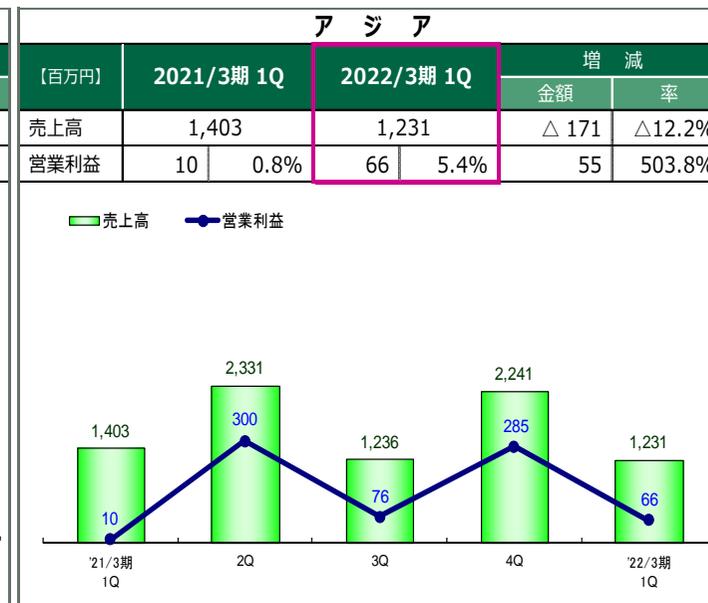
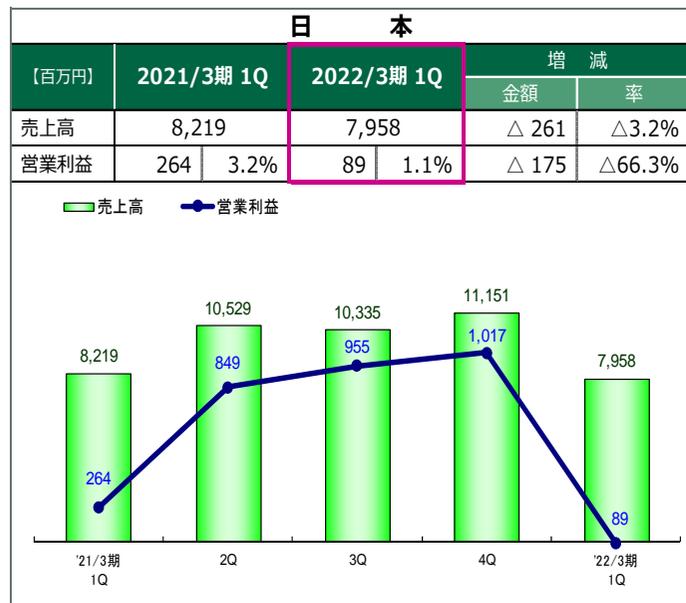
中期経営計画における事業区分別 (プレス/FA/サービス) 売上高



顧客業種別 プレス機械売上高



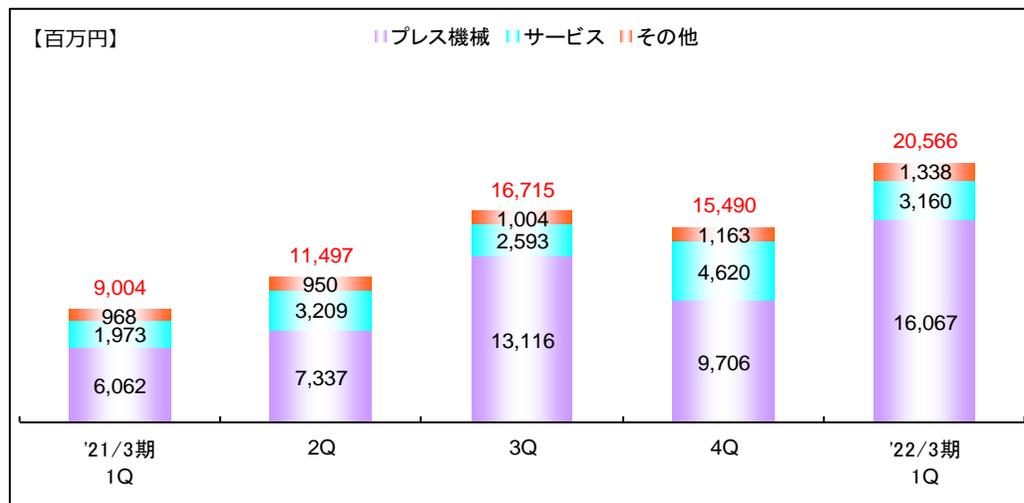
売上高・営業利益(所在地セグメント別)



受注高(事業区分別、顧客業種別、所在地別)、受注残高(所在地別)



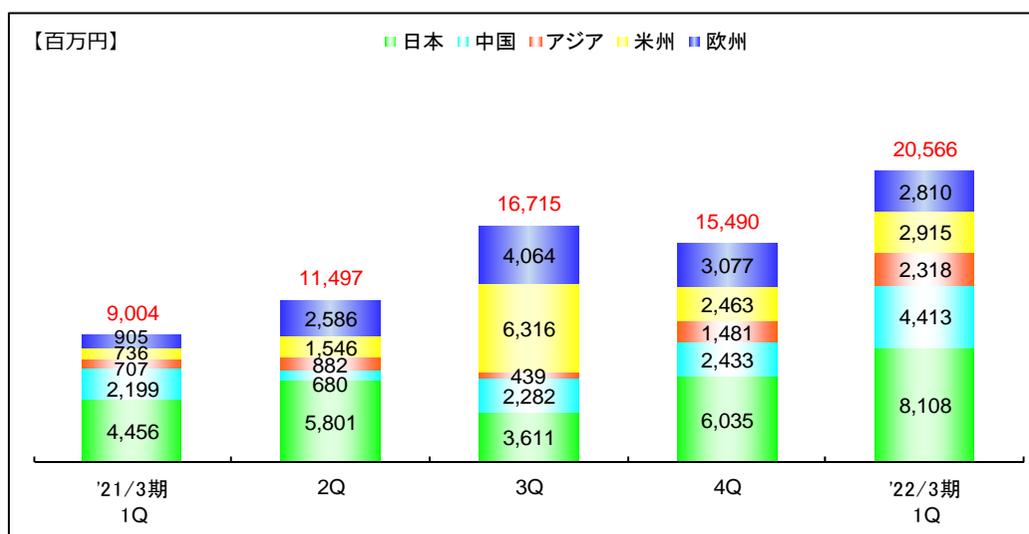
事業区分別 受注高



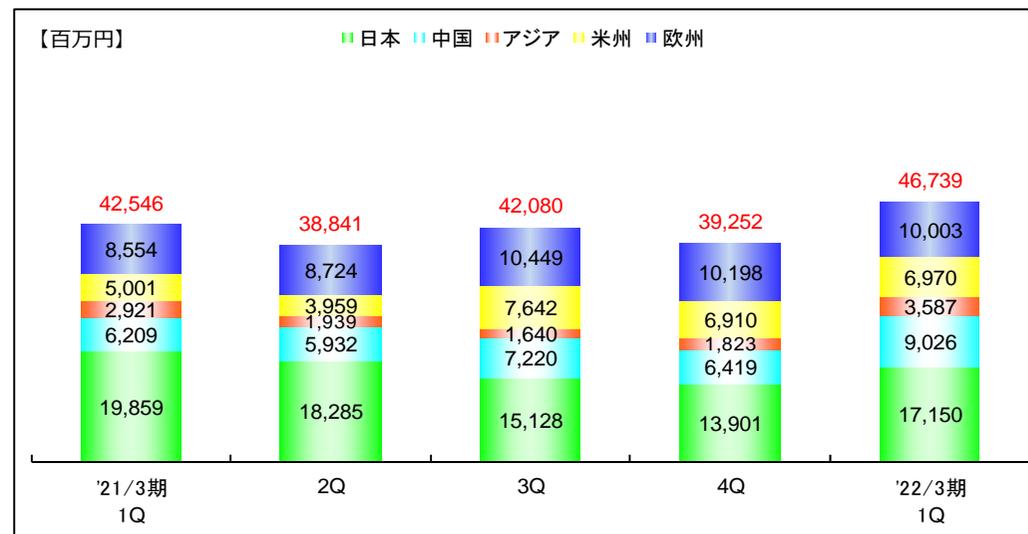
顧客業種別 プレス機械受注高



所在地別 受注高



所在地別 受注残高



連結貸借対照表

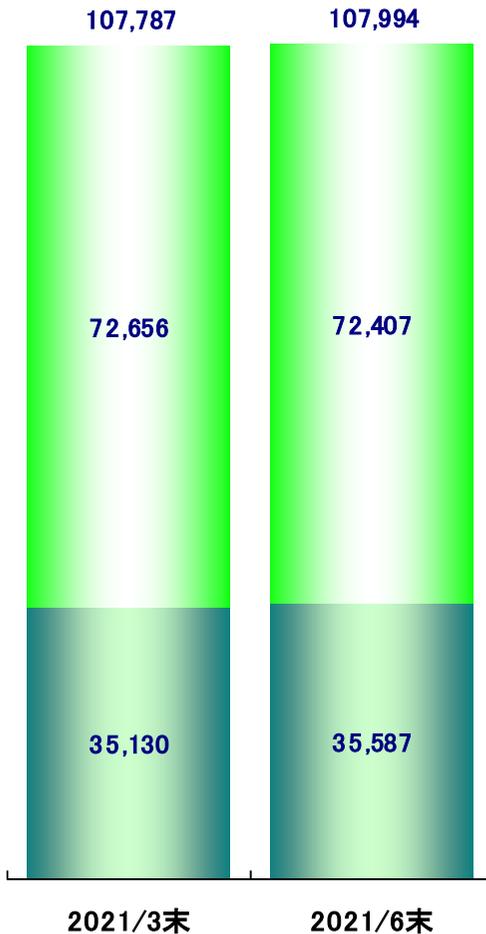
資産合計

■ 固定資産 ■ 流動資産

【百万円】

対前期末

資産合計 + 207



流動資産	△ 248
売上債権	△ 3,046
(※受取手形、売掛金及び契約資産・電子記録債権)	
棚卸資産	+ 2,310
その他流動資産	+ 624

固定資産 + 456

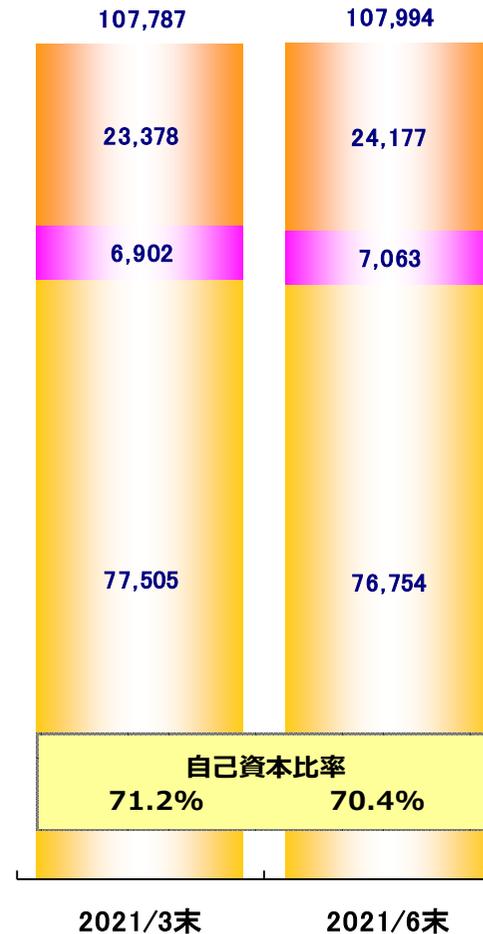
負債・純資産合計

■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債

【百万円】

対前期末

負債合計 + 959



流動負債	+ 799
未払法人税等	△ 776
前受金・契約負債	+ 1,756

固定負債 + 160

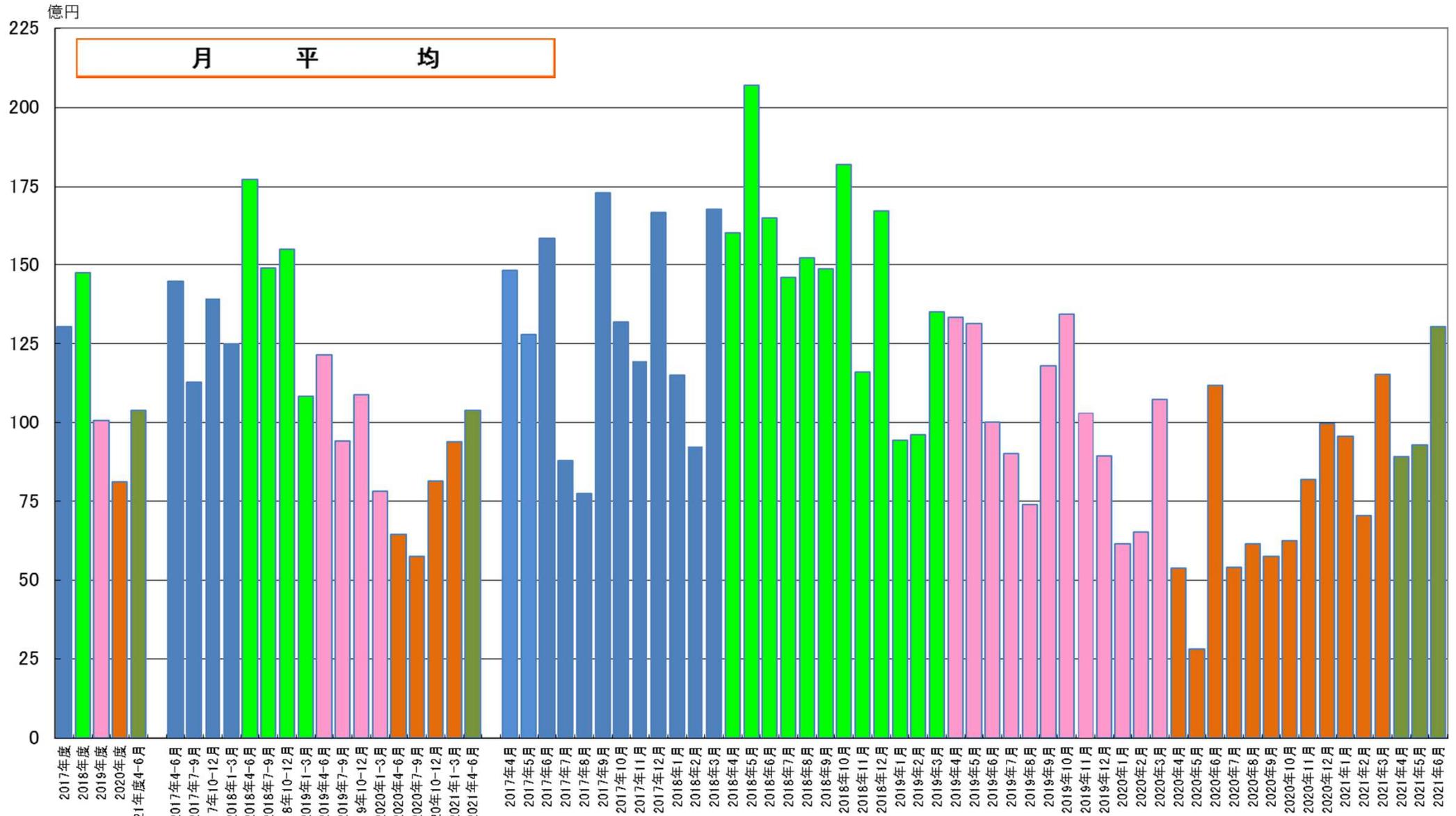
純資産合計 △ 751
利益剰余金 △ 1,122

自己資本比率
71.2% 70.4%

(参考) 鍛圧機械製造業 (プレス系機械) 受注推移1



プレス系機械： 機械プレス+液圧プレス+鍛造機+自動化装置

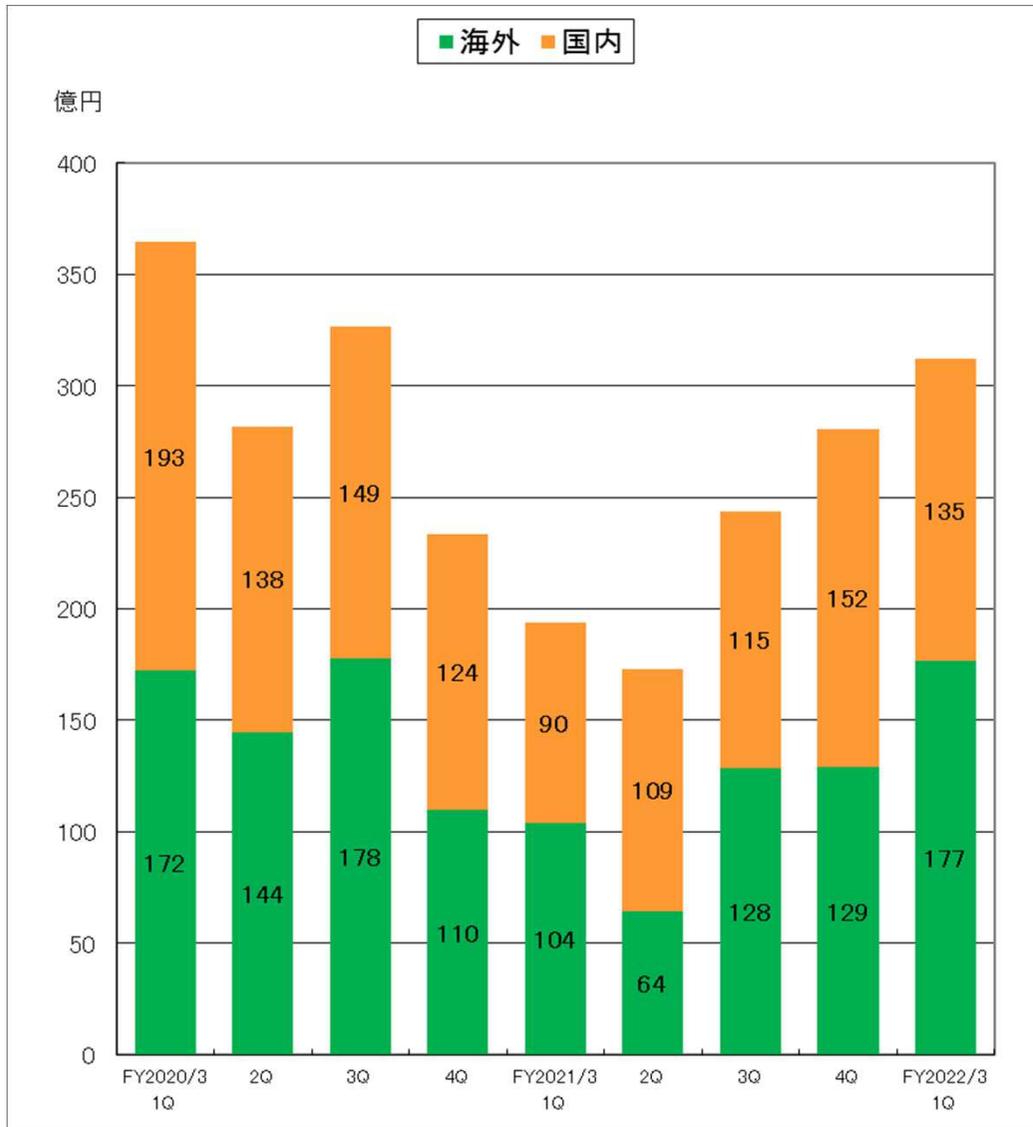


出所：(一社)日本鍛圧機械工業会

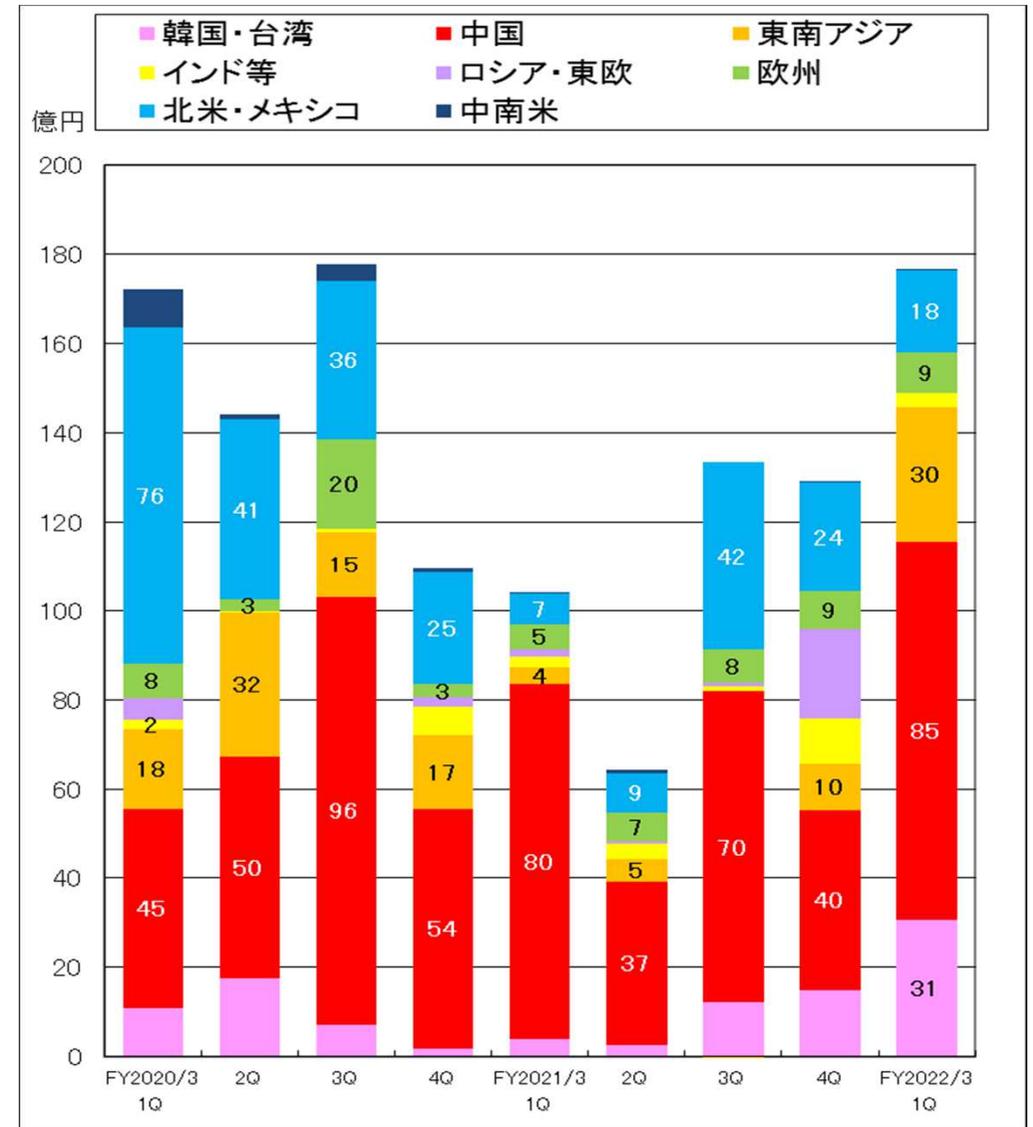
(参考) 鍛圧機械製造業 (プレス系機械) 受注推移2



国内・海外 仕向地別



海外向 地域別



当資料取り扱い上の注意点



当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは、仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては、想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。

当社または当社の経営者は、将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令等に別途定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

2021年 8月

アイダエンジニアリング株式会社
代表取締役会長兼社長 会田 仁一